



仙果作 國芳画

七ツ組入子枕



四編下

佐野喜

四編上

調伏麻呂の伏 編四枕子入

入子枕四

嘉永四年 謹春 版用

これの巻の... 子... 仙果

門へ遠13
1868
4

調伏麻呂馬扇

嘉永辛亥新販

七心組

入子海々

仙果述

國芳画

四編上

喜鶴堂 發行

玉葉集卷第八

物おのひ

うぢの

浦の

あはれ

波も

まよふ

あはれ

あはれ

とそ

きけ

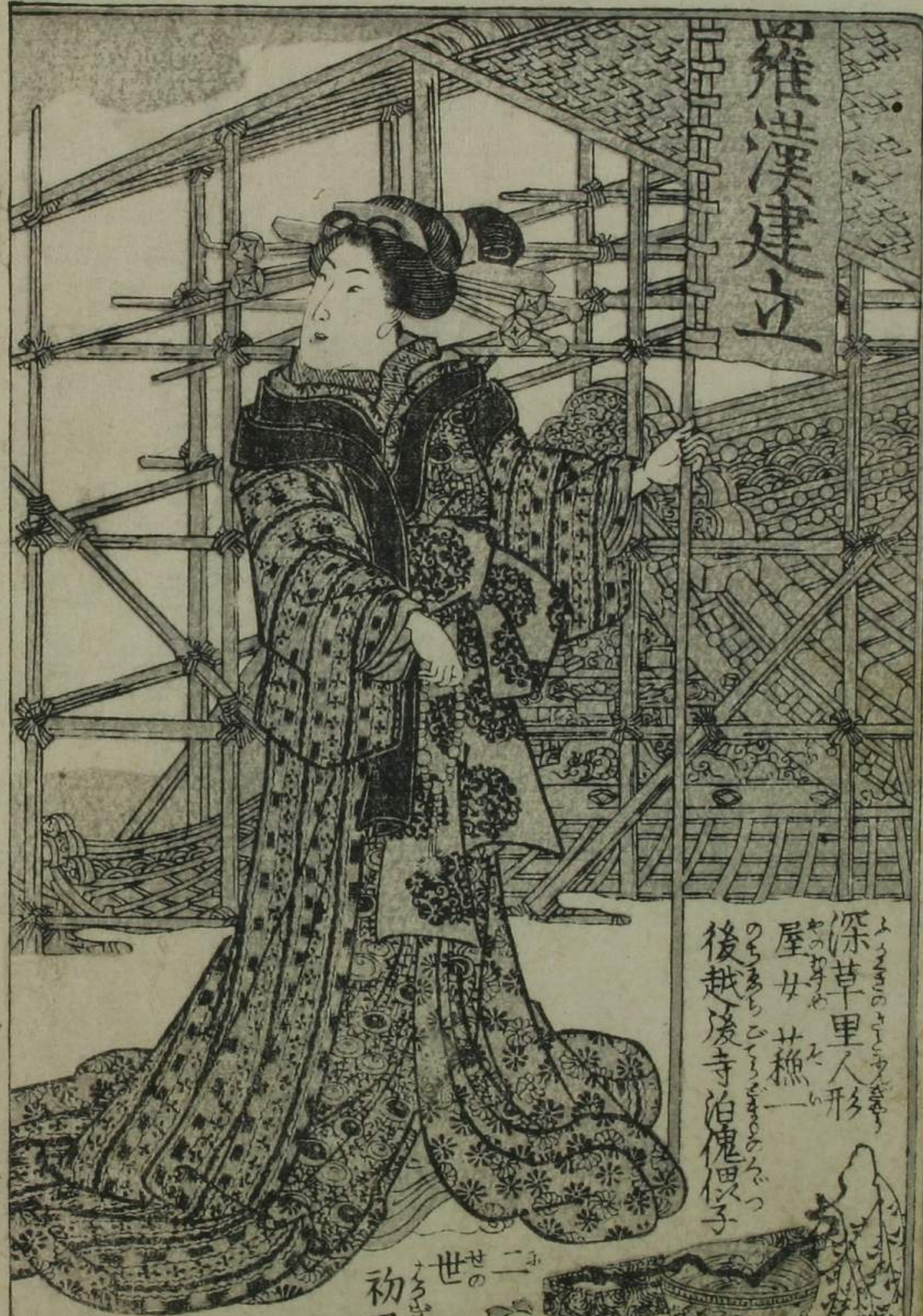
初君

歸正算



拐子調伏磨

羅漢建立



深草里人形
屋女 廿一
後越後寺泊鬼假子

世の二
初君



この巻の物語は、昔の日本に於ける女性の生活と労働の様子を描いたものである。この挿絵は、女性が大きな荷物（お荷物）を背負って、木造の建物の縁側（えんがわ）に立っている様子を示している。彼女の着ているのは、格子（かぢ）と文様（もんやま）が施された着せ帯（きせおび）と袴（はかま）である。背景には、障子（しょうじ）の窓と、室内の一部が見える。この挿絵は、物語の登場人物の生活環境を視覚的に表現している。

この巻の物語は、昔の日本に於ける女性の生活と労働の様子を描いたものである。この挿絵は、女性が大きな荷物（お荷物）を背負って、木造の建物の縁側（えんがわ）に立っている様子を示している。彼女の着ているのは、格子（かぢ）と文様（もんやま）が施された着せ帯（きせおび）と袴（はかま）である。背景には、障子（しょうじ）の窓と、室内の一部が見える。この挿絵は、物語の登場人物の生活環境を視覚的に表現している。

この巻の物語は、昔の日本に於ける女性の生活と労働の様子を描いたものである。この挿絵は、女性が二つの木桶（きびく）を担いで歩いている様子を描いている。彼女は、格子（かぢ）の着せ帯（きせおび）と袴（はかま）を着ており、木桶（きびく）は、腰（こし）に掛けられたヤたい（やたい）と呼ばれる担架（たんか）に乗せて運んでいる。背景には、竹垣（たけがき）や松（まつ）などの木々、そして遠くには山（やま）が見える。この挿絵は、女性が労働に従事している様子や、当時の交通手段（ヤたい）を示している。



かきまわす
あつたつち
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる

かきまわす
あつたつち
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる



かきまわす
あつたつち
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる

かきまわす
あつたつち
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる
かまがはる

Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or introduction to the illustration below.



Handwritten text surrounding the illustration of the woman, providing context or description.

笠亭仙果述 一勇齋國芳画



Handwritten text surrounding the illustration of the man and woman, likely a commentary.

Large block of handwritten text at the bottom of the page, continuing the commentary or providing additional details.

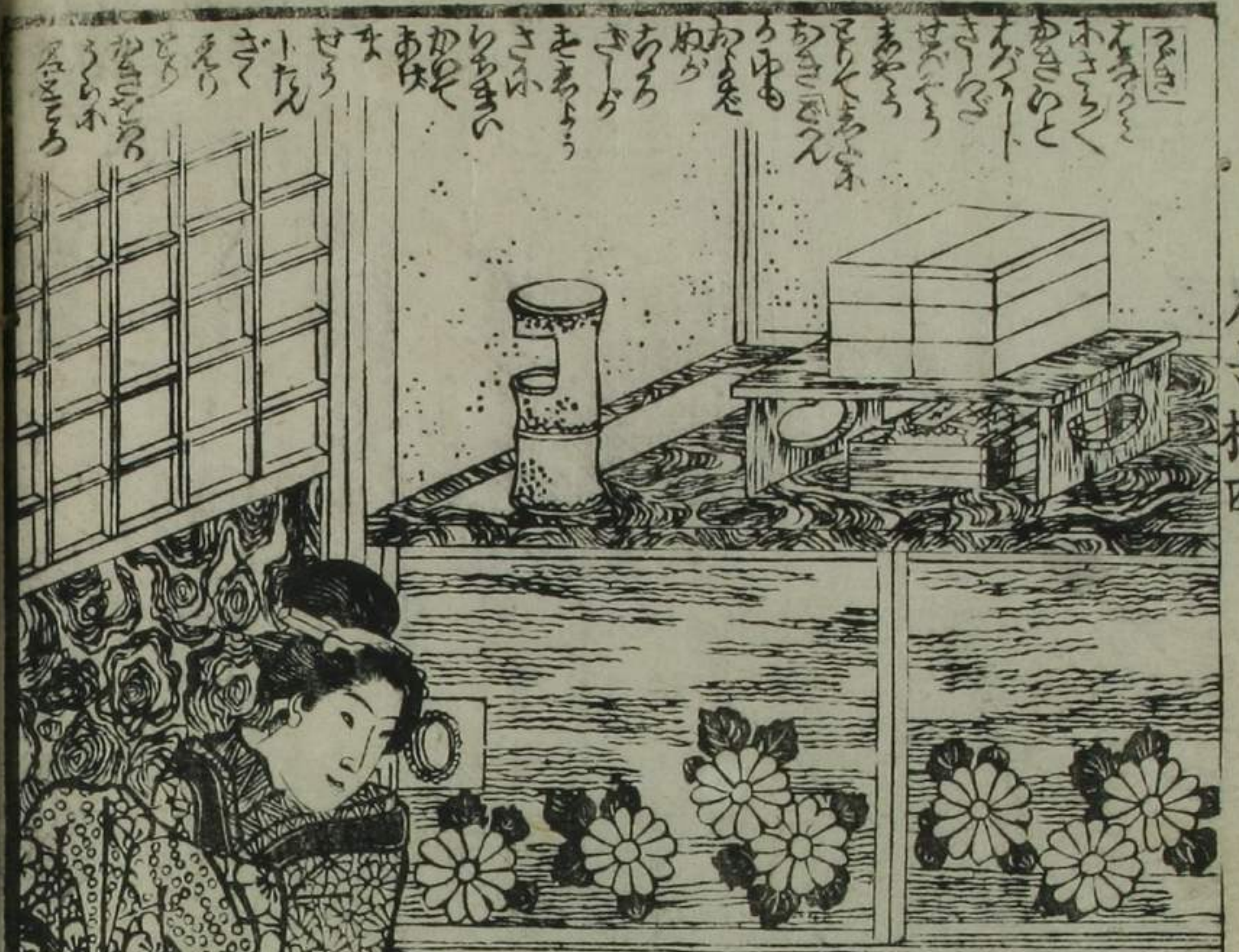


Handwritten text in a cursive style, likely a form of shorthand or a specific dialect, covering the top and right portions of the page.



Small handwritten characters located below the illustration of the man.

Handwritten text in a cursive style, likely a form of shorthand or a specific dialect, covering the top and right portions of the page.



入子抄四

Small handwritten characters located below the illustration of the kneeling woman.



花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下

花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下

花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下



花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下

花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下
花下



Handwritten text in a cursive style, likely a continuation of a narrative or a list of items, located at the top of the right page.

Handwritten text in a cursive style, located in the middle section of the right page.

Handwritten text in a cursive style, located at the bottom of the right page.



Handwritten text in a cursive style, located in the middle section of the left page.

Handwritten text in a cursive style, located at the bottom of the left page.

Handwritten text in the upper left corner of the right page, written in a cursive style.



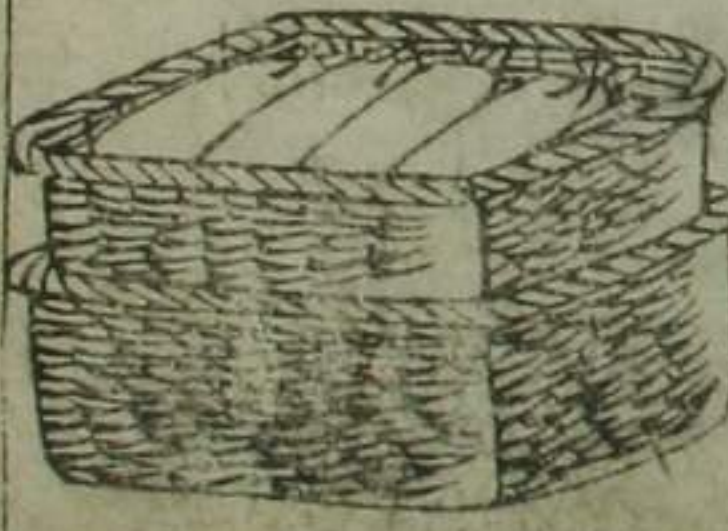
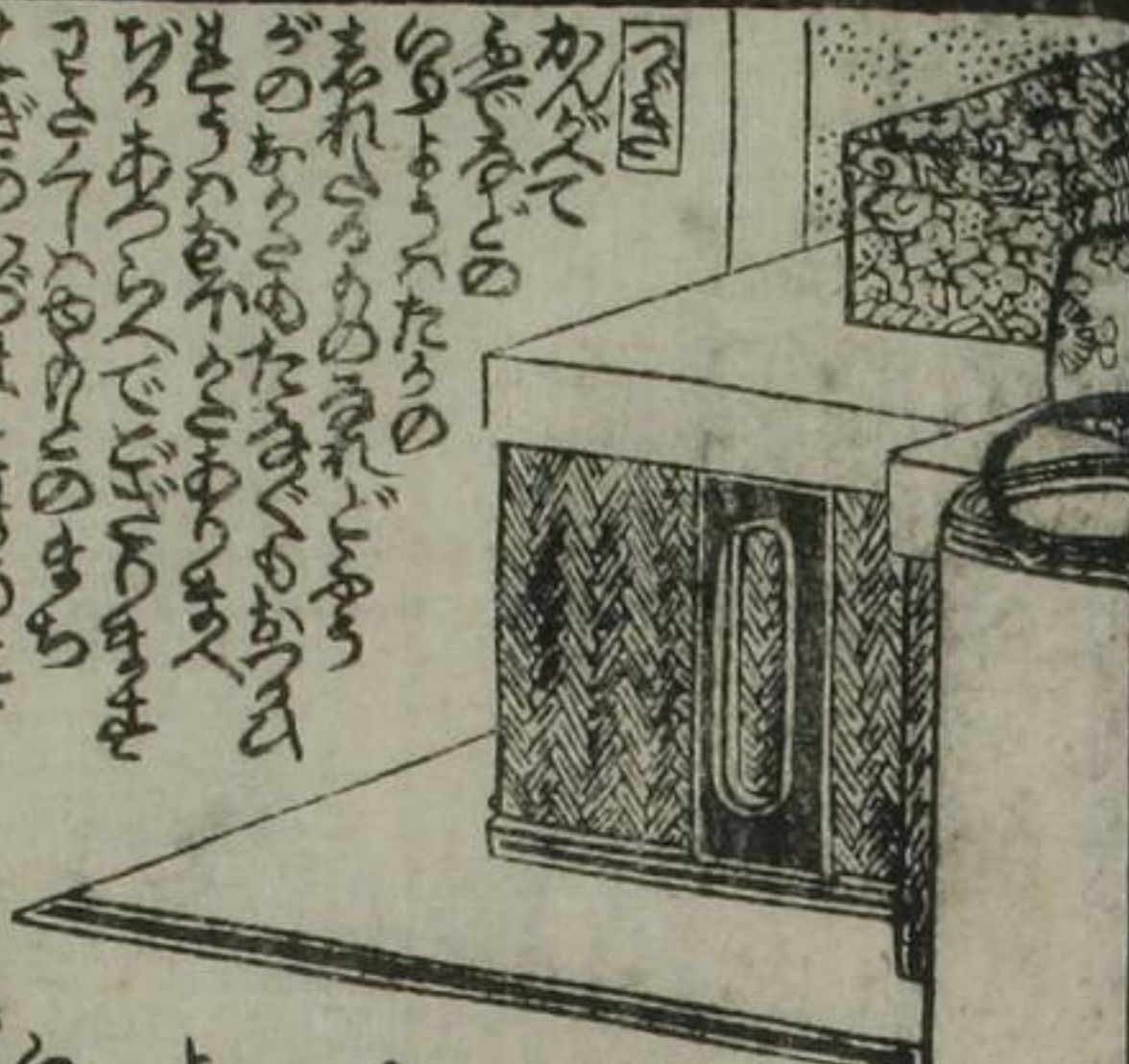
Handwritten text in the lower right corner of the right page, continuing the narrative.

Handwritten text in the upper left corner of the left page, written in a cursive style.



Handwritten text in the lower left corner of the left page, continuing the narrative.

Handwritten text in a vertical column on the left side of the page, likely a commentary or a list of items. The text is dense and appears to be in a historical Japanese script.



Handwritten text in a vertical column on the right side of the page, continuing the commentary or list from the left page. The text is dense and appears to be in a historical Japanese script.

嘉永七年甲寅孟春新鐫目錄

<p>潤祈小町 墨字沫櫻 梅蝶樓國貞画</p>	<p>關太郎鈴鹿故語 一雄齋國輝画</p>	<p>総次郎琴聲美人錄 一雄齋國輝画</p>	<p>娘庭訓金鶏 梅蝶樓國貞画</p>
<p>井佐野屋喜兵衛板</p>	<p>衣伊達奥州合戦 一壽齋芳員画</p>	<p>教訓乳母草紙 國輝画</p>	<p>繪圖見西行 一雄齋國輝画</p>



仙果述
國芳畫

清書 金川

